

教科(科目)	農業(農業科学基礎)	単位数	4 単位	学年(学科・コース)	1年生 農業科
使用教科書	農業科学基礎 農文協			授業形態	必修
副教材					

1 科目目標

「農業生物の育成についての体験的、探求的な学習をとおして農業に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業および農業学習についての興味関心を高めるとともに、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る能力と態度を育てる」

また本校において1年次後半におこなわれるコース選択の参考になるように努める。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	生産部門 野菜 実習をとおして野菜栽培の基礎を学習する。	野菜栽培の実習を体験し、興味関心を持たせるとともに基礎的な知識、技術を覚える。	50	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、態度、意欲、実習レポートの提出による。 ・定期テストの実施。
5	果樹 県央地域の主要果樹の一般的な管理作業を体験し理解する。	各種果樹の生育の規則性や栽培の仕組みを知り、季節の基礎的な管理について実習体験を通じた学習をする。		
6	草花 草花栽培の基礎・基本を、実習等をとおして学習する。	草花の役割と種類について理解させる。また、草花の生育特性や基礎的な栽培技術について学習する。		
7	動物 実習を通して動物飼育の基礎技術、知識を学習する。	主に食糧生産に利用されている家畜(牛、豚、鶏)の基礎的な生理、生態について理解を深め、現在の食糧生産及び食糧消費の在り方について再確認を促す。		
	関連部門 バイオテク 植物バイオテクノロジーを中心に、無菌操作や培地作成を体験する。	植物の組織培養を中心に、バイオテクノロジーについて基礎的な実験や講義を通じて理解を深める。		
	食品製造 食品製造の意義と基礎を理解、習得する。	製造実習により興味関心を高め、食品製造を行う上で必要な基礎的な知識、心構えを理解させる。		
	緑地工学 森林や造園に関する体験的な学習を通して、基礎的な知識技術を修得させる。	森林や造園に関する基礎的な知識、技術を修得し、専門用語や計算方法を理解する。		
	環境土木 農業土木分野に関する体験的な学習を通し基礎・基本的な技術・技能を習得させる。	農業土木分野の基礎的な技術を修得し、専門用語や計算方法を理解する。		

8 9 10 11 12	上記生産部門の4コース、関連部門の4コース、それぞれで年間を通してローテーションしながら学習する。	60	同上
1 2 3	上記生産部門の4コース、関連部門の4コース、それぞれで年間を通してローテーションしながら学習する。	30	同上

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲 ・態度	農業に興味・関心を持ち、積極的に取り組んでいるか。 農業実習の服装・身なりがきちんとしてきているか。	授業態度・実習態度等 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100 点満点で評価する
思考 判断	将来のコース選択のために考え、行動しているか。	
技能 表現	ファイルの整理やレポートの提出ができてきているか。	
知識 理解	各部門の基礎的な知識を理解しているか。	